

平成22年度 第1回東濃西部少年センター運営協議会議事録

日 時 平成22年7月1日(木)
午後1時30分～午後3時
場 所 東濃西部総合庁舎 5階南会議室

- (1) 所長挨拶
- (2) 会議の成立の確認

11名の出席で会議の成立を確認 他代理3名

- (3) 委員自己紹介
- (4) オブザーバー紹介
- (5) 委員長選出

石原所長： 条例第5条第3項により、引き続き多治見市教育
長村瀬登志夫氏に依頼。

- (6) 委員長挨拶並びに職務代理指名

村瀬委員長： 規則第5条第3項により、委員長代理として多治
見市 市民文化課 課長 伊藤徳朗氏を指名。

2、議 事

① 平成21年度歳入歳出について

石原所長： 資料「東濃西部少年センター事業特別会計」に基づき報告

村瀬委員長： 需用費から役務費に77,000円流用されていますがどのような理由
ですか。

石原所長： 初めての試みとして、指導員全員を対象にした意識調査を行いました。
その送付や返信などに郵送料が掛かりました。

他に質問なし 承認

② 平成21年度指導活動並びに相談活動の結果について

石田： 資料「平成22年度東濃西部少年センター街頭指導等実施結果」に
基づき報告

村瀬委員長： 質問は、ありませんか。

他に質問なし 承認

3、その他

・本年度4～5月の指導・相談活動の現状について

石田： 指導日誌及び6月報を資料に現状を説明。

石原所長： 5月の委嘱式以後、194名の指導員による指導活動が始まっています。各班からの状況は後ほどオブザーバーの方からお話をさせていただきたいと思います。最近、駅の周りでの動きが心配な状況になっているという報告が入っています。これにつきましては、高校の方でも対応を考えて動いて見えるようです。

富田校長： 駅の方から、高校生が不快感を与えるという話がありまして、県立8校に電話をいれ、生徒指導部の職員で巡回しました。その後、特定2校で調査をしてもらいました。通信制の学校や部活をしていない生徒が多く、いく所がないことから必然的に駅に集まってしまう現状であります。大きな声を出すとか、目にあまる迷惑行為であれば指導も出来ますが、ぎりぎりの行為で難しいところです。

高橋補導員： 資料の4番を見てください。不良行為が昨年より数百件多くなっています。小泉・根本・多治見・土岐駅に有職・無職少年がいます。声をかけるといなくなり、又戻るというイタチゴッコが現状です。学校の先生に回ってもらうのが一番効果があったと駅から話がありました。
JR多治見の件については、警察のほうでも話し合って対応は考えているところです。

松川所長： 当相談センターと少年サポートセンターとの情報交換の場で、部活のない学校やサポート校の生徒がたむろしていることが話題になっています。ところで、当相談センターの扱う事例は、個別の相談のケースが中心となっています。

村瀬委員長： 3名の方の話から、何か付け足す事はありますか。

荒木会長： 実際、未成年が朝の3時や4時にコンビニを出入りするのが現状です。お酒やタバコについては、売らないように研修をしていますが、オーナーの性格にもより対応しきれないこともあります。そんな気の弱いオーナーの店を連絡しあって集まってきたり、警察の巡回も携帯で連絡しあって免れたりしているようです。

万引きに関しては罪悪感が無く、集団で来て店の人の目をそらせて盗るなど巧妙になっています。親にも問題意識が無く、お金さえ払えばいいと思っています。

警察も現場で、法に縛られ思い切った手が打てない状況があります。条例を変えないとどうにもならないという難しい現状があります。とにかく親の教育をして地域のレベルを上げていくしかないと思います。他人の子に口を出せないのが問題です。

水野副店長： 悪いという意識はない。親子で来て、謝罪してお金を払えばそれで終わり。子ども達の間では、店の情報を連絡しあって店の盲点をよく知っている。

親は子どもの持ち物を見て注意して欲しい。親の教育が必要だと思います。

・オブザーバーからの報告と意見交換

多治見地区

江口： 登下校の声かけをおもにしています。ただ、歩道が狭くて雨の日は特に困っています。最近、木の枝がじゃまをして子ども達が車道を歩いたりして危険な状況です。関係機関に何度も働きかけているけれど、らちがあかない。

瑞浪地区

加藤： JR 瑞浪駅での喫煙は、ここ2～3年は沈静化していますが、警察から配布された犯罪少年の補導人数を見ると、瑞浪市も昨年比157%増で驚いています。このようなことから、情報交換の場を年2回の協議会だけでなく、度々設けていただいて、その情報を念頭において街頭指導にあたりたいと思います。

先日、携帯について講演を聴きました。メリット・デメリットがあると思いますが、悪い方向に使える方も多いようなので、買う前に家庭で話し合ってもらえるように、啓発できる事があればいいとおもいます。

村瀬委員長： 157%の内容はどうなっていますか。

高橋補導員： 詳細については、まだ分析段階です。

土岐地区

水野： 子どもたちといろいろな場所で会って声をかけると、返してくれます。つくづく声かけは、大切だと思っています。

駅前のだむろは毎年あります。6月になると減るのですが今年が多いように思います。タバコを吸っている子や、集団でかたまっている若者には声をかけづらいのが現状です。新任の指導員の方にどんなふうに声をかけたらいいか、共に考え、教えたりと一緒に巡回して声かけをしています。

村瀬委員長： 東濃3市で、学校・PTA・町民会議の皆さんに巡回してもらっていますが、困ったことなどいろいろと啓発をして行きたいと思います。他の方で何かございますか。

富田校長： いろいろな地域で高校生が迷惑をかけていると思いますが、地域の指導力でお助けいただければありがたいです。

コンビニなどで万引き等があれば、学校の方にもその事実を連絡して頂きたいと思います。本人や保護者にも伝えて指導しなければなりません。

荒木会長： 今は、警察に届けます。そうしないと後で、嫌がらせをされたりするので、どんな事も警察に届けます。

富田校長： 知らない保護者や分からない保護者に知らせたいと思います。高校の方にも連絡をして下さい。

村瀬委員長： 貴重なご意見をありがとうございました。

・今年度の主な行事と新たな取組みについて

石原所長より資料にて説明

村瀬委員長： 学校は、まもなく夏休みになります。子どもたちの動きに注意していきたいと思います。

これをもちまして、運営委員会を終了します。

第2回運営協議会は、平成23年1月6日（木）を知らせ終了する。